

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>●先輩として尊敬の気持を持って援助します</p> <p>●相手の立場に立って同じ目線で援助します</p> <p>●優しい笑顔で接します</p> <p>*認知症のある人は私達の鏡である</p> <p>ケアする人の姿が相手に伝わる</p>	○	現理念を基本としてその時々利用者様に応じた理念をつくり、その人らしさが生きるように取り組んでいきたい。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	利用者様は人生の先輩であり、時には家族になり祖父・祖母・父・母・子・孫との接し方をし、もう一つの家族と思ひ愛情と笑いのあるホームである。	○	時にはスタッフ、時には家族となりご利用者の状態に応じ場面々々で接し方に工夫しながら、楽しい生活が送れる様に今後も努めていく。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切に理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	理念は玄関・事務所に掲げており来所の方に見ていただける様にして、地域推進会議・家族の面会時にはケア実施状況など伝え理解に努めている。	○	地域との接点をつくりよりよい運営を行う。
2. 地域との支えあい				
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	近所の方々から野菜の差し入れがあったり、窓越しにコミュニケーションができるつきあいができている。又、小学生はトイレを借りに寄ったり、休みの日には遊びに来てくれ入居者様とトランプ遊び等をして楽しく過ごされている。	○	もっと近所の方がホームを訪れていただけるような、関係づくりに努めたい。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	地域の運動会を一部の入居者様と見学・応援に参加しました。	○	地域の会合に出向き当施設のアピールを行い回覧板を廻していただける様に働きかけ、色々な行事に参加できる体制をつくっていききたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現在はホーム内業務に追われて、地域の役立つことまだには到っていないが散歩の際は立ち話等おこなっている。	○	ホームのイベントに参加して貰えるように取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価については書面にての確認であったため全スタッフの統一ができていなかった。	○	今後は全スタッフで討議して、利用者様のよりよい暮らしのサポート、ホームの質の向上に努める。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一回開催して意見はホームの「宝」として重視している。また、開催日にホームのイベントをすることで楽しませている。	○	外部からの意見をもとに議論・討議してサービスの向上に活かしていく。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	施設、行事に参加していただけた。	○	さまざまな市町村関係者とも交流の機会を持ちサービスの向上に努めたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在のところ利用されておられる方はおられないので、一部スタッフのみの理解である。	○	今後は必要な方もおられるので対応できるように全スタッフが理解して活うようできるように支援していきたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ニュース等で問題になると随時話し合い、スタッフ一人ひとり再認識している。	○	全スタッフは一つひとつの言動を振り返り虐待になってないか見極め防止に努める又、会議に取り上げていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の際には安心して過ぎて貰える様に説明し、質問に対しては理解してもらえるまで話し合う機会を設けている。</p>	<p>○</p> <p>説明には誰もが理解しやすい言葉を用い、専門用語は極力使用しないように心がける。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>不平・不満を言える関係が築けているので、その都度話し合い解決できるものから解決している。</p>	<p>○</p> <p>利用者様にとって、より良い生活の改善に努めていきたい。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族面談時には口頭で伝えているが、理解して頂けるまでに至っていない。</p>	<p>○</p> <p>月一回書面にて利用者様の様子・心身状況を伝え、家族と蜜に話し合いが出来る機会を設け、反映に繋げていきたい。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族面談時には誤解がなかったか、いきすぎがなかったか、意見を出してもらえるように施設側より問いかけている。</p>	<p>○</p> <p>家族の意見は重視し、話して良かったと言ってもらえるように、全スタッフで討議して答えをだしていく。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>会議ではもちろんのこと、日々気づき等あるときは随時意見をだしてもらい運営に役立てている。</p>	<p>○</p> <p>スタッフ1人ひとりの意見を大事にして運営の向上に努める。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者様の状況に応じてスタッフの確保をし、勤務表作成前には希望休暇をだしてもらうことで調整を行っている。</p>	<p>○</p> <p>利用者様・家族様に支障のないよう努めていきたい。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>出来るだけ入れ代わりがないように全スタッフで協力しあって、ケア統一に努めている。</p>	<p>○</p> <p>個人的な都合は仕方がないが、利用者様がダメージを受けないように話し合いを設けていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<input type="checkbox"/> 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	人員関係で研修に参加できなかったが、9月から安定してきたのでスタッフ交替で参加して全スタッフに伝え活かしてもらうようにしている。	<input type="checkbox"/> 書面で伝えるだけでなく、会議に取り入れ実践していきたい。
20	<input type="checkbox"/> 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	個人的に福祉・医療関係者の知り合いより、情報交換等を行い質の向上に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/> 地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりをしていきたい。
21	<input type="checkbox"/> 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	話を持つ機会を設けている。 職場以外でも個人的にストレス解消を行っている	<input type="checkbox"/> 事業所でストレス解消できる場を作っていきたい。
22	<input type="checkbox"/> 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	スタッフの努力を認めボーナスへ反映している。	<input type="checkbox"/> 金銭的面だけでなく各自が向上心を持って働けるよう話し合いをする。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<input type="checkbox"/> 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	個人的に相談があった場合でもスタッフで話し合い改善している。	<input type="checkbox"/> 本人が何を求めているかを見極め、これでいいのか討議していきたい。
24	<input type="checkbox"/> 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族からはどのような形であれどのようなことでも話してもらえるように心がけている。	<input type="checkbox"/> 全スタッフが家族の思いを受け止め、家族へのケアにも取り組んでいきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様・家族様の意向を尋ねたのち見極め対応している。	○	その人にとってどのサービスが適切かを見極め、知る限りのサービス内容等の説明をしていく。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	必ず本人様と一緒に施設見学をしてもらい、本人様・家族様のご理解・納得のもと入居していただいている。	○	今後も本人様・家族様のご理解・納得いただき入居してもらいたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	スタッフは利用者様と一緒に過し昔のこと(歴史)を学び互いに響きあいながら関係を築いている。	○	今後も利用者様をご存知のことを教えてもらい情報を得たり、励まし励まされながら関係を築きたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の思い(考え)がそれぞれ違うのでキーパーソンを中心に世間話等を交えながら関係を築いている。	○	家族の面会が多いところはよいが来られない家族様には密に連絡をとり、心身状況を伝え本人様の寂しさ、不安を軽減できるようにスタッフでカバーしていきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	色々な家族がおられるも現状を受け止めてもらうことで良い関係が保たれている。	○	今後も良い関係が保てるように支援していきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人や場所の情報収集してそれをもとに会話することで以前過ぎてきたことを楽しそうに思い浮かべながら話していただきます。	○	話だけでなく馴染みの場所に出向くなどの支援に努めていきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	思いはまちまちであるが互いに気を使い助け合い支え合いみられるも批判や派閥があるときは介入し対応している。	○	全利用者様が和気藹々で過してもらえるように小さいことを見逃さないように努めていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	どの職員にでも相談があった場合でも、相談に乗り、助言等行っている。 来所の際気持ち良く受け入れている。	○	ご家族様がいなくても遠慮なく立ち寄れるホーム作りに努めていきたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様へは、日々の会話で希望・意向が聞けている。	○	今後も希望・意向を聞きその人らしく過してもらえるように取り組んでいきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入院されていた方は、看護サマリー等で確認したり、ご本人様の記憶とご家族様による情報で把握している。 また、ダンス・仏壇等馴染みの物を持参頂いている。	○	家族様にも基本シートを記入してもらい情報収集をする。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	長年つちかわれてきた事を活かし、心身状態に合わせ職員と一緒に少しずつ取り組んでいる。	○	ご本人様の希望にたどりつける様、段階を踏み、喜びに変えて行きたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	プランを立ち上げる前に、ご家族様の意向を書面にして頂き、または口頭で尋ねる等を行い、ご本人様・スタッフ全員でも意見を出し合って作成している。	○	ホームに任せますとの声もありますので理解と関心をもっていただけるようにホームでの様子をまめに伝え計画に参加してもらいたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	その方に応じて面会時に話し合い後、ご本人様・スタッフの意見を取り入れながら作成にあたっている。	○	今後は主治医の意見も取り入れていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録は全職員での記録とし、共有しながら実践しているが、記録だけでは伝わらない事もあるので、日々数分でも話し合いを行っている。	○	今後もその都度討議してケアに活かしたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族の要望は出来る範囲受け入れ、実施し支援をしている。	○	病院受診は基本的に家族様であるが家族様が高齢の場合は職員の同行をしていきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティア・実習生などの依頼があったところに対してはすべてお受けし、お互いに協力合っている。	○	多方面の方々の協力を得ながら本人様を支えていきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他施設へ居住されたときには関係者の方々と話し合いの場を持ち本人様が安心して過せるように支援している。	○	ケアマネジャーやサービス事業者との連携を図っていきたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在必要な方がおられない。	○	今後は必要に応じて地域包括支援センターと協働していきたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居する前から主治医がおられた方には入居後も同じ所で受診して頂いている又、判断が難しい時は電話で相談している。事業所・協力医にも相談する事もある。	○	夜間・休日でも連絡が取れるように努めていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医等認知症に詳しい医師ではないが相談できる医師・協力医がある。	○	専門医との関係を築いていきたい。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	当施設の看護師に相談する事ができ、日常の健康管理に努めている。	○	今後も健康管理を行い施設内で解決しないで他の看護職等にも協力してもらえる関係を築いていきたい。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された時には数回の面会を行い情報交換等行っている。	○	面会時「早く帰りたい皆元気」と言われるので安心して治療できるように会話もち早期退院してもらいたい。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に対しては行っていないが、重度化に対しては家族も不安を抱えておられるので、何度もご家族様との話し合いを行っている。	○	重度になられても安心して生活ができるように医療機関との連携を図りたい。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在重度の方はおられないが、今後の事については全職員で検討している。	○	医療機関との連携を図るとともに安心して暮らせる環境づくりにつとめる。
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人・家族による都合で他施設へ移られる際は、家族の同意を得たのち、情報の提供を行っている。	○	本人様のダメージを防ぐ為にも情報交換は欠かせない。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーには十分気をはらいケアに努めているが、記録には今まで使用していた専門用語を用いての記入になっている。	○ プライバシーを損ねない為にも専門用語は使わないようにして日頃から言葉使いに配慮し、個人情報の取扱いには十分注意している。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の思いを大切に、希望にそえる様に支援し、自分の決定を促している。	○ 本人様の希望が言え、本人様が決定できる雰囲気を作りたいたい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	「ちょっと待って」と職員の都合を優先する事もあるが、本人優先の心がけで希望にそえる様にしている。	○ その人のペースを保ちながら支援していく。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人様希望の店・希望日に支援している。	○ 今後も支援していきたい。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一部の方のみであるが、調理の下処理・片付け等一緒に行っている。	○ 昔ながらの料理をスタッフが教えてもらいながら一緒に調理をしていきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者様の好みの物など、ご家族様が持参されたり食事に希望のメニューを取り入れる。	○ 利用者様の嗜好を重視して楽しく食事してもらおう。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	本人様の声により「安心出来るから紙パンツで」の要望ある事で、ほとんどの方が紙パンツであるが、安心を得られる事でトイレでの排泄がほとんどである。	○	1人ひとりの排泄パターンを把握して誘導している。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回と決めているが、無理にその曜日に入って頂く事はせず、ご本人様の希望にて変更する事もある。	○	本人様の希望があれば、曜日や回数にとらわれず入浴できるようにしていきたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	居室・リビングでいつでも休息出来る様にベット・ソファを設置し、室温・湿度の調整を行い、気持ち良く休息出来る環境にしている。	○	本人様の状態により休息を促し、本人様意思で休息してもらおう。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	時にはカラオケをしたり、踊ったりなど、長年楽しんでいた事を取り入れたり、毎日の仕事として洗濯物たたみを分担して行なわれている。	○	役割や楽しみを取り入れ変化のある生活ができるように支援していきたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	多額は持って頂いていないが、ご本人様で管理出来る金額を家族との話し合いで決定し、ご本人様管理としている。	○	本人様の能力に応じ自己管理とする。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ご本人様達の声がある事で行動に移したり、計画を立て実施している。(ドライブ・外食・散歩)	○	ホーム内ではばかり過ごすのは退屈だと思うので気分転換にも外出の支援を行いたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節の行楽は全利用者参加で行い、家族の参加があった事もある。	○	本人様が言葉される場所への外出を支援していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙を書くからと取り組まれたが、途中までで送るところまでにいたらなかったが、電話での会話はご本人希望で行っている。		字を書くのみが手紙でなく他の形での手紙に取り組んでいきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも面会でき、居室で長時間過ごして頂いている。リビングでも面会でき、ホームの居心地を感じて頂いている。	○	沢山の家族様に来所頂ける様に居心地よい環境に心がけたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は全スタッフ理解している。いままでに拘束をした利用者様はいない。	○	拘束に関してもっと深く勉強して拘束をしないようにしていく。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけず対応している。外出された時は分かる様にセンサーを付けているが、常に所在確認をしている。	○	今後も現状のまま取り組んでいきたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	全利用者様の所在確認は常に行い、居室での様子・言動も把握し必要に応じ言葉かけをしている。	○	見守り、言葉かけをし安全に配慮していく。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	病院から処方薬は職員の方で管理しているが、家族持参の薬・シップ・軟膏等は、一人ひとりに応じて自己管理としている。	○	その方の能力に応じ使い慣れてあるものは自己保管で支援していく。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒には十分配慮し、一人ひとりに応じて対応している。	○	家族の持ち込み際は確認させてもらい事故防止に努めたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	研修で身につけてもらい、口頭で確認している。		年数回は救急法の勉強会を行う。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難場所を決め、訓練を最低2回実施している。	○	以前利用者様の混乱があったのでスタッフだけで実施していたが、今後は利用者様も一緒に実施していきたい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	病的なことは主治医より説明されている。 日常生活の中での事は施設長・管理者より家族へ説明している。	○	生活する上では避けて通れないことなので家族来所時に伝えていきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	異常と思う時は、家族に連絡を取り、状態報告・主治医受診をしてもらっている。	○	症状の変化に気づきすぐにスタッフで話し合い対応していきたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	1人ひとりの処方箋を見て対応するようにしている。 変更や追加があった場合は口頭と記録で把握・確認出来る様にしている。	○	誤薬がないように数人で配薬管理を行っていく。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事には野菜を沢山使用し、水分を多く摂ってもらい、薬を出来るだけ使用しないようにしているが、服薬が必要な方には主治医の指示で行っている。	○	排便は体のバロメーターであるので把握して快便に努めたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後呼びかけ、実施している。	○	健康でいてもらい、美味しく食事をしてもらえるように毎食後実施していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	スタッフは、1人ひとりの摂取量を把握し、利用者様の負担にならない様に援助している。	○ 今後も栄養バランスを考え間食にも配慮していきたい。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	ほぼ毎日ホーム内の消毒をし、外出後は手洗い・うがい・水分補給に努めている。 インフルエンザ予防接種は全利用者様が行われている。	○ 感染症予防に努めたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	次亜・漂白剤を用いて消毒を行い、鮮度には特に気をつけて購入している。	○ 新鮮な物を購入し提供していきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	だれもが出入りしやすいように夏は網戸にし、建物周囲の工夫に努めている。	○ 出入りしやすい環境作りに心がけたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下は安心して歩行訓練が出来る様に程よい光・行事写真を貼る事で、季節感を楽しみながら、しらずとして立位保持へとつながっている。 年に数回リビングの模様替えを行い、居心地良い環境作りに努めている。	○ リビング兼食堂は全利用者様集う場所であるので居心地の良い環境作りをしていきたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングで空間を作る事で、利用者様の思いの様に活用して頂いている。	○ ベランダにテーブル・椅子の設置を行い外でも気分転換できるようにしていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みのタンス・仏壇等持込んで頂き、ご本人様の意思を取り入れながら配置している。	○	本人様の意向にそえる環境を作っていきたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気には十分配慮し、まめに扉・窓の開閉に気を付け、臭いがある際は、その原因を突き止め、対応策を練っている。 現在消臭剤・炭・次亜等を用いている。	○	乾燥、室温に気をつけ過しやすい環境づくりに心がけたい。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	1人ひとりが安心して過せるようにトレマットの使用者・未使用者がいるまた、大きさも違う。	○	その人の機能にあわせ過したい環境の提供をしていきたい。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	ご本人様の能力に応じたレクを取り入れ、数人の職員と一緒に、混乱や失敗を防ぎ、傷つけない環境づくりを工夫している。	○	その人にあつた取り組みをして自身をもっていただけるように努めたい。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダは好きな時に入出出来る。 洗濯物の取り入れは、ご本人様の判断で取りこまれる。	○	ベランダをもっと活用できるように工夫して自由に活用してもらいたい。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

その人がしたいように日々過ごして頂いている。

年一回家族様に参加してもらい運動会を実施して食事を一緒にし、ホームでの様子を目で見ていただき感じてもらっています。

季節行事はもちろんのこと本人様の希望が聞けた時には出来る範囲で外出・外食を行っています。